

千葉大本番レベル模試(2020年10月実施)

英語採点基準

I

【基準】

* 下の【解答例と詳細基準】に別記がない限り、以下の通りとする。

- ① 指定語を使っていないもの、あるいはスペルミスしたものは得点0点。
- ② 指定語数外の場合は得点0点。
- ③ 指定語以外のスペルミスは、1語につきマイナス1点。
- ④ 下記記載以外の文法ミスはマイナス1点。

問1 (各2点: 計20点)

【解答例と詳細基準】

解答例と許容例 (3~5語)	マイナス1点	マイナス2点 (左記以外)
(1) <u>put</u> up with		• <u>put</u> up at
(2) <u>ought</u> not to have said • <u>oughtn't</u> to have said • <u>ought</u> to have avoided saying	• <u>ought</u> to not have [have not] said • <u>ought</u> not to have told [spoken]	• <u>ought</u> not to have talked
(3) <u>every</u> time they go out • <u>every</u> time people go out • <u>every</u> single time • in <u>every</u> case[chance, time]	• <u>everytime</u> they [people] go out • <u>every</u> time they [people] go	
(4) <u>used</u> to play		
(5) out of the <u>question</u> • beyond the <u>question</u>	• out of (a) <u>question</u>	
(6) are the <u>chances</u> • <u>chances</u> are there	• are his [Mike's] <u>chances</u>	
(7) cannot[can't, can not] <u>help</u> but • cannot[can't, can not] <u>help</u> but to	• couldn't [could not] <u>help</u> but	
(8) were absent <u>from</u> • absented themselves <u>from</u> • were away <u>from</u> • kept themselves away <u>from</u> • were excused <u>from</u>	• refrained <u>from</u> attending	
(9) puts <u>on</u> (any) weight • puts (any) weight <u>on</u>	• puts <u>on</u> her [a, the] weight • puts weight <u>on</u> • goes <u>on</u> gaining [to gain] weight • puts <u>on</u> (excess(-ive)) fat	
(10) made up my <u>mind</u> (about/on) • made my <u>mind</u> up (about/on) • set[put] my <u>mind</u> on[about] • got my <u>mind</u> set on	• made up the [a] <u>mind</u>	

問2 (各3点:計30点)

【解答例と詳細基準】

解答例と許容例	語数	マイナス1点
(1) do me a <u>favor</u> [favour]	4	<ul style="list-style-type: none"> • do us a <u>favor</u> • do me the <u>favor</u>
(2) on[upon] <u>what</u> it[that] is <ul style="list-style-type: none"> • on[upon] <u>what</u> you want[need/demand] • on[upon] <u>what</u> to do 	4	
(3) if [whether] you could[would/ might] <u>walk</u>	4	<ul style="list-style-type: none"> • if [whether] you can [will] <u>walk</u>
(4) would[could/should/must] take <u>care</u>	3	<ul style="list-style-type: none"> • will take <u>care</u>
(5) are <u>so</u> high [heavy/ huge] <ul style="list-style-type: none"> • you <u>so</u> much 	3	<ul style="list-style-type: none"> • us <u>so</u> much
(6) don't <u>you</u>	2	
(7) How many <u>times</u>	3	
(8) <u>both</u> Saturday(s) and Sunday(s) <ul style="list-style-type: none"> • <u>both</u> Sunday(s) and Saturday(s) • <u>both</u> of the days 	4	
(9) <u>early</u> enough to	3	<ul style="list-style-type: none"> • <u>early</u> so [that] I
(10) I can [could] <u>rely</u> on[upon]	4	<ul style="list-style-type: none"> • we can <u>rely</u> on[upon]

III

問1 20点

【設問】 下線部(1)について、筆者はどのような理由を提示しているか、次の第3段落から探して日本語で具体的に説明しなさい。

【下線部】 (点線部は直接的関連箇所、①などの番号は解答や下表との対応箇所)

... Offering a solution shuts down the conversation that seems to him to have no point. It seems that way because he's looking for the point in the message, while it lies elsewhere.

Every utterance has meaning on two levels: message and metamessage. The message is the meaning of the words; the metamessage is what it says about the relationship that these words are spoken in this way in this context. The message of follow-up questions and extended answers is clear to everyone. ①It's their metamessage that means so much to many women (and can be opaque* to many men). Taking the time to explore a problem, to ask questions and listen to the answers, and then use the answers in formulating* further questions — all this sends ②a metamessage of caring. The one who tells of a problem feels less alone if someone cares enough to engage in troubles talk. ③Given this expectation, short-circuiting* troubles talk sends the opposite metamessage: I don't want to hear any more about your problem because I don't care enough about it — or about you.

(解決策を提供することは、男性には無意味に思える会話を一瞬にして終わらせる。だが、無意味に思えるのは、男性がメッセージの中に真意を探し求めているのに、それが他の所にあるからなのである。

すべての発話には、メッセージとメタメッセージという2つのレベルの意味がある。メッセージはその言葉の意味であり、メタメッセージは、その言葉がこの文脈でこのように話される関係についてメッセージが伝える意味である。追跡的な質問と長々と続く回答のメッセージは、誰にとっても明白である。①多くの女性にとって非常に重要なのは、そのメタメッセージなのである(多くの男性には不可解でもあろうが)。時間をかけて問題を探り、質問をし、その回答を聞いてから、その回答を使って更に質問をする。これはすべて、②思いやりというメタメッセージを送っているのである。ある問題について話す人は、誰かが十分気にかけて悩み話に付き合ってくれれば、孤独感が和らぐ。③この期待を踏まえると、悩み話を短絡させることは反対のメタメッセージを送ることになる。つまり、私は君の問題についてこれ以上聞きたくない。なぜならそれを、いや君のことも、あまり気にしていないから、と)

【解答】 (①などの番号は下表との対応箇所)

(男性が女性の悩み話に性急に解決策を提供することは) ①女性が言外に求める②思いやりが③男性にないことを表すから(女性が悩みを打ち明けて始めようとした会話を即座に終わらせる)。

【基準・配点】

- (a) 部分②があることを前提とする(欠如は得点0)。
- (b) 部分とその要素に以下の点を配する。部分の減点はその配点を超えないものとする。
- (c) 以下に言及のないミスは1つマイナス1~2点とする。

部分	配点	-3点	-5点
①女性が言外に求める	10点	・「女性」=彼女 ・「求める」=思う ・「言外」=暗に[秘かに]/心底で	・「女性」=欠如 ・「求める」=欠如 ・「言外」=欠如
②思いやり		・「思いやり」=注意[用心]/好意/もてなし/世話[保護]/ケア	
③男性にないことを表す	10点	・「男性」=彼 ・「~にない」=不十分 ・「~ことを表す」=誤訳	・「男性」=欠如 ・「~にない」=欠如 ・「~ことを表す」=欠如

問2 20点

【設問】 下線部(2)を doesn't の内容を明示した日本語に訳しなさい。

【下線部・解答・配点・基準】

以下に言及のないミスは1つマイナス1～2点とする。

下線部 (解答)	配点	基準			
<p>The frustration a woman might feel if she wants to talk about a problem and a man she is close to doesn't is proportional to the magnitude of the troubles.</p> <p>女性がある問題について話したいと思ひ、親しい男性がその問題について話したくないと思っている場合に女性が感じるかもしれない苛立ちは、悩みの大きさに比例する。</p>	20点	【構文面・出題意図上の制約】			
		ア. The frustration ... is proportional : 主述関係把握ミスは、 <u>マイナス20点</u> 。 イ. a woman might feel : 関係詞節把握ミスは、 <u>マイナス4点</u> 。 ウ. she is close to : 関係詞節把握ミスは、 <u>マイナス4点</u> 。 エ. doesn't : 内容の不適切なものや非明示は、 <u>マイナス10点</u> 。			
		【語彙面】 *以下の例と同義のものも同列に扱う。別記がない限り、要素の欠如は <u>マイナス2点</u> とする。			
		要素	マイナス1～2点		
		The frustration		・ 誤訳	
		a woman might feel		・ 誤訳/時制ミス	
		if she wants to		・ 誤訳/時制ミス	
		talk about a problem		・ 誤訳	
		and		・ 誤訳/または	
		a man		・ 誤訳	
		she is close to		・ 誤訳/時制ミス	
		doesn't		・ 時制ミス	
		is proportional to		・ 誤訳/時制ミス	
		the magnitude of		・ 誤訳	
the troubles		・ 誤訳			

問3 15点

【設問】下線部(3)を日本語に訳しなさい。

【下線部・解答・配点・基準】

以下に言及のないミスは1つマイナス1～2点とする。

下線部（解答）	配点	基準	
<p>her friend complained about a boyfriend's thoughtlessness and other offenses that her own boyfriend was not guilty of. 彼女の友人が、彼女自身のボーイフレンドにはないボーイフレンドの思いやりのなさや他の腹立たしいことについて不平を言った。</p>	15点	【構文面・出題意図上の制約】	
		ア. that : 関係詞節把握ミスは、 <u>マイナス4点</u> 。	
		【語彙面】*要素の欠如は <u>マイナス2点</u> とする。	
		要素	マイナス2点
		her friend	・誤訳
		complained about	・誤訳/時制ミス
		a boyfriend's	・誤訳
		thoughtlessness	・不注意/浅慮[浅はかさ]/誤訳
		and other	・誤訳
		offenses	・誤訳
her own boyfriend	・誤訳		
was not guilty of	・無罪[有罪でない]/誤訳/未来時制		

問4 20点

【設問】 下線部(4)の具体例について、それが **backfire** となる理由を日本語で具体的に説明しなさい。

【下線部】 (点線部は直接的関連箇所、①などの番号は解答や下表との対応箇所)

Finding matching troubles to offer can easily backfire*. A woman devastated* by her husband's accidental death was not comforted when a friend said that she, too, had experienced the pain of learning to live alone, following her ②divorce. Though the friend began by saying, "I know it's not the same," her comment gave the impression that she did think the losses were comparable, and this strengthened the widow's conviction that her friend didn't understand what she was going through at all, and had no idea ③how much more painful it is to ①lose a partner with whom she had lived in near-perfect harmony.

(釣り合う悩みを見つけて話題に供しようとするのが、裏目に出やすいこともある。夫の不慮の死に打ちのめされたある女性は、友人が「私も②離婚後、一人暮らしをするようになる辛さを経験したのよ」と言ったとき、慰められることはなかった。その友人は「同じでないことは分かっているけど」と断ってから語り始めたのだが、彼女の一言は、失ったものは同じだと思っている印象を与え、自分が経験していることを全く理解してくれておらず、ほぼ完璧に睦まじく一緒に住んでいた①相手を失うことが②離婚③よりどれほど辛いかわからないのだという未亡人の確信を強めたのである)

【解答】 (①などの番号は下表との対応箇所)

愛する①夫と死別した女性の方が②離婚で夫と別れた女性③より辛いので(前者は後者の悩み話にかえて苛立ってしまう)。

【基準・配点】

- (a) 部分とその要素に以下の点を配する。部分の減点はその配点を超えないものとする。
- (b) 以下に言及のないミスは1つマイナス1～2点とする。

部分	配点	-3点	-5点
①夫の死	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・「夫」=妻/相手/パートナー/家族 ・「死」=自然死(など accidental death 以外の死) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「夫」=友人/欠如 ・「死」=(単に)失う/いなくなる/欠如
②離婚	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・「離婚」=(生き)別れ/生別 	<ul style="list-style-type: none"> ・「離婚」=欠如
③上記①の方が辛い		<ul style="list-style-type: none"> ・「辛い」=(単に)痛い[痛み]/重い[重さ]/深刻 	

問5 10点

【設問】 下線部(5)の would を，その内容を明示した日本語に訳しなさい。

【下線部】 (点線部は直接的関連箇所)

This is especially true for men who wouldn't talk to their own friends about problems in their relationships, and don't see why anyone else would either.

(このことは、恋愛関係における問題について自分の友人に話そうとせず、なぜ他の誰もがそうするのかも分からない男性に特に当てはまる)

【解答・配点・基準】

以下に言及のないミスは1つマイナス1～2点を原則とする。

下線部と補足内容 (解答)	配点	基準	
<p>would talk to their own friends about problems in their relationships 恋愛関係における問題[悩み]について自分の友人に話そう[相談しよう]とする</p>	10点	【構文面・出題意図上の制約】	
		ア. would : 「~だろう (単なる推量)」などの誤訳や時制ミスは、 マイナス5点 。 イ. 前の anyone else を訳出しても可とする。それ以上の無関係な箇所まで訳出したものは、一律 マイナス5点 。 ウ. relationship を「友人との関係/友だち付き合い」などとし、恋愛関係と捉えられていないものは マイナス5点 。	
		【語彙面】 *要素の欠如はマイナス1～2点とする。	
		要素	マイナス2点
		would	
		talk to	・誤訳
		their own friends	・誤訳
		about problems	・誤訳
in their relationships	・誤訳		